

コクリカ坂

本校の国際理解教育に関わる活動を紹介しています。



秋田県立能代松陽高等学校

国際理解通信 No.2

2026.6.23 (6月号)

Welcome to Noshiro Shoyo HS 留学生の紹介

6月22日(月)から7月29日(水)までの6週間、アメリカから2名の留学生を迎えています。本校滞在中は一緒に授業を受けたり、野球応援に出かけたりします。また留学生が希望する部活動に参加する場合があります。本校での楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思っていますので、全校の皆さん、ぜひ積極的に声をかけてみてください。よろしくお願いします。



ソフィアさん クリスチャンくん

名 前 Sophia Clarise Lui

ソフィア・ルイ

出 身 アメリカ テキサス州

高 校 Round Rock High School

クラス 3年A組



名 前 Christian Nguyen

クリスチャン・グエン

出 身 アメリカ ジョージア州

高 校 Lambert High School

クラス 1年B組

韓国の高校生とのオンライン交流

5月22日(金)、3年生韓国語の授業でオンライン交流をしました。今回交流したのは、ソウル市にある培花(ペファ)女子高校で、本校とは7年前から交流を続けています。

この日は日韓合わせて5~6人グループになり、「〇〇になりたい」「〇〇に行きたい」という表現を使って、互いの進路希望について話をしました。培花女子高の生徒たちは「インソウル*」を目指して受験勉強に励んでいるということでした。この日は1, 2年生は体育大会だったようですが、3年生は勉強のために参加せずに自宅学習ということで、交流には自宅から zoom で参加していました。進路目標は違っても、同じ高3として頑張ろうと励み合って交流を終えました。次回のオンライン交流は秋に行う予定です。



*インソウル (in Seoul)

「ソウル市内にある大学に合格・進学すること」を指す受験戦争を象徴する言葉。

全国ロシア語圏プレゼンテーション大会 1位に輝く



6月13日(土)、京都外国語大学主催の「第3回 全国ロシア語圏プレゼンテーション大会」が開かれました。この大会は、ロシア語圏*の関心のあることについて日本語で発表するというもので、今年のテーマは「私が推したいロシア語圏」で、高校生部門には関西圏の学校を中心に 6 組が出場しました。

本校からは3C 米森菜々さんと2A 金子成さんが出場しました。2人は「美術館みたいなロシアの地下鉄 ～日本とロシアを比較して～」というタイトルで、歴史や文化的背景に触れながらロシアの美しい地下鉄について発表し、見事 1 位となりました。

米森菜々さん 「ロシア語圏に興味がある高校生・大学生と交流できて、充実した大会になりました。ロシア圏の様々な分野に関心があるので、大学入学後もロシア語の学習を続けたいです。」

金子 成さん 「ただ発表するだけの大会だと思っていたが、ロシアに興味をもつ高校生や大学生と知り合えて有意義だった。来年度もぜひこの大会に出場したい。」

*ロシア語圏

ロシア・カザフスタン・キルギス・ベラルーシなど旧ソ連の国を指す。

第1回 国際理解講座 1年生



5月26日(火)5, 6校時、1年生を対象に第1回国際理解講座が行われました。講師としてお迎えした北川裕子先生は「のしろ日本語学習会代表」として30年以上能代市で外国人に日本語を教えてきた方で、NHKで取り上げられたり文化庁長官賞を受賞したりと精力的に活動されています。この日1年生は「助詞(てにをは、など)の使い方」を予習したうえで講座に臨み、日本語を外国人に教える難しさを実感しました。また、戦争の残酷さについても改めて考える機会となりました。以下は受講した生徒の感想(抜粋)です。

住んでいる国が違う、話す言語が違うと外国人として認識し身構えていたのが当たり前の感覚だったが、前提として「人と人」の交流であることを忘れてはいけなかった。

「外国人だから」ではなく、文化や社会が違って相手も1人の人間として認め、何かあったときに相談したり手を取り合って生活していくことが大切だと感じた。

外国語が分からなくても意思はしっかり伝わるのだなと思った。最近外国人をよく目にするので、話しかけられたら伝えようという意思をしっかりと見せていきたいと思った。